

令和5年度 事業報告書

1. 概況

令和5年度は、物・サービスの価格高騰や夏場の猛暑などに悩まされる一方で、デジタル技術を活用した豊かな社会への変革に向けた取組みが国を挙げて進められてきました。また、新型コロナウイルス感染症については感染症法上で5類へ移行したものの、終息への見通しは不透明な状況が続いています。

こうした状況のなかで、新宿区シルバー人材センターは、当センターが長期的に「めざす姿」である『生涯現役の活動を通して地域社会とつながるシルバー人材センター』の実現とともに、コロナ禍期からの復興を推進してきました。そのため、①周知活動の強化、②会員の拡大と資質向上、③就業機会の拡大、④会員の安全確保と健康管理の推進、⑤会員活動の活発化の施策に取り組みました。また、消費税に係るインボイス制度導入に伴う契約料金の引上げやフリーランス新法制定に伴う会員就業に係る契約方法の見直し、デジタル化社会への対応にも取り組みました。

令和5年度事業については、周知活動の強化において、総合パンフレットの作成や四谷法人会との連携、会員向けスマートフォン体験会などを新たに行いました。また、PRグッズやチラシ等の配布及びイベントやインターネットの活用など多様な周知活動を行いました。会員の拡大と資質の向上では、地域への出張や対面とインターネットによるなど参加しやすい入会説明会の実施に努めました。また、会員向けの技能や接遇等に関する研修を実施しました。令和5年度末の会員数は、女性入会者の減少等により前年度比14名減少の1,703名でした。就業機会の拡大では、就業開拓専門員によるポスティングや訪問営業等とともに、会員向けの個別就業相談や特別出張所ごとの就業相談会などを実施しました。また、職員等による就業現場巡回やローテーション就業により適正就業の促進に取り組みました。会員の安全確保と健康管理の推進では、「事故ゼロ」に向けて安全意識の啓発や安全就業パトロールなどを行いましたが、前年度比で13件と大幅に増加しました。また、ウォーキング講座やシルバー100トレの会等を通して会員の健康増進に取り組みました。会員活動の活発化については、新型コロナウイルス感染症の「5類移行」を受けてボランティア活動を再開しました。また、「ここ・からまつり」に参加するとともに事務所内での「交流のひろば」の再開準備を進めました。

受託事業は、受注内容の拡大や公共事業の事務費引上げなどにより、契約金額が約7億6,800万円で前年度比9.9%の増加でした。契約件数は生活援助サービスや植木手入れ等の減少などにより、10,851件で、前年度比2.1%の減少でした。派遣事業は、契約金額が約4,240万円で、前年度比16.6%の増加でした。

令和5年度事業の実施結果について、次のとおり報告いたします。

2. 周知活動の強化

(1) 普及啓発活動等実施状況

発注者向けの総合パンフレットを新たに作成するとともに、PR グッズや新聞折込みの内容やデザインを見直しました。

事業所への PR を拡大するため、新宿法人会に加えて四谷法人会とも連携するとともに、東京都の事業を活用したスマートフォン体験会を実施し、会員のデジタルスキルの向上を図りました。

新型コロナ感染症の 5 類移行に伴いイベントが増加したため、積極的に参加し PR 活動を行ないました。

P R 方 法	実 施 内 容	実施回数
印刷物の作成	イメージカラーである赤色を用いた、事業全般に関するパンフレット、チラシの作成	随時
PR グッズの作成	名入れ蛍光ペン、PR 用ウエットティッシュ、オリジナル不織布バッグ、オリジナルクリアファイル、オリジナルしおりの作成	随時
区広報の活用	「広報しんじゅく」に入会募集及び受講生募集等掲載	15 回
デジタルサイン	新宿区役所本庁舎及び特別出張所で実施	10 回
新聞折込み	会員募集及び仕事募集のチラシの折込み 計 155,000 部	4 回
法人への PR	新宿法人会及び四谷法人会と連携し、会報に仕事募集チラシを同封し区内事業所向けに配布 新宿法人会：9,000 部 四谷法人会：1,800 部	7, 9, 11 月 12 月
就業開拓訪問活動	企業や町会等の地域関係者への受注案内による訪問 PR、一般家庭へポスティング：約 2 万 5 千部	305 事業所 254 町会等
区施設・町会での PR	特別出張所へのパンフレット・チラシ配置 名入れカレンダーを町会に配布 オリジナルしおりを図書館に配置	随時
個人への PR	イベントに参加し、センター PR チラシおよび手づくりショップ・ふれあい、らくらくリフォームウェア、家事援助等各種事業チラシ、PR グッズを配布	13 回
玄関前掲示板掲出	自主事業チラシ、作品掲出及びチラシ入れの活用	4～3 月
公式 HP での発信	受注状況一覧表の掲示や、教室の応募案内等を掲載し、最新の情報を発信	常時
YouTube チャンネル	YouTube「公益社団法人新宿区シルバー人材センター」チャンネルの運用	常時
LINE 公式アカウント	センター会員を対象に事業周知を実施	9 回

機関紙の発行	「まあるい」の発行・全会員等に配付	4回
会報の発行	「事務局だより」の発行・全会員配付	12回
スマホ体験会	東京都の事業を活用し、会員向けスマホ体験会を実施	3回

(2) イベント等への参加状況

イベント名	参加年月日	参加場所	参加者数
レガスマつり 2023	令和5年4月1日	新宿コズミックセンター	6
西早稲田リサイクルまつり	令和5年6月10日	西早稲田リサイクル活動センター	8
落合第二地域センター 第14回開館記念イベント	令和5年6月17.18日	落合第二地域センター	20
シニアしごと EXPO	令和5年10月3日	新宿 NS ビル	5
新宿スポレク 2023	令和5年10月9日	新宿コズミックセンター	17
ふれあいフェスタ 2023	令和5年10月15日	新宿スポーツセンター前 やくどうの広場	29
榎町地域センターまつり	令和5年10月22日	榎町地域センター	7
アトムフェスタ	令和5年11月5日	新宿リサイクル活動センター	8
これからシルバー 応援フェスタ	令和5年11月14日	板橋区立グリーンホール	2
シニア充実ライフ万博	令和5年11月21日	牛込笹笥区民ホール	5
体験！しんじゅくささえあい	令和5年12月2日	桜美林大学	6
第29回牛込笹笥地域まつり	令和6年1月28日	笹笥地域センター	7
四谷ふれあい祭	令和6年3月10日	四谷地域センター	9

3. 会員の拡大と資質の向上

(1) 会員拡大

対面入会説明会(31回開催)及び地域(出張入会)説明会(3回開催)、ネット入会説明会(常時開催)等を実施しました。令和5年度末の会員数は1,703人で、4月期の退会者集中の影響を受けて前年度比で14人、0.8%の減でした。

経営計画の5年度指標1,690人に対する達成率は101%です。

会員	5年度			4年度			差 引		
	入会者	退会者	年度末	入会者	退会者	年度末	入会者	退会者	年度末
男(人)	120	114	999	129	116	993	△9	2	6
女(人)	90	110	704	130	120	724	△40	10	△20
計(人)	210	224	1703	259	236	1717	△49	12	△14

(2) 資質の向上(会員研修、職員研修)

会員及び職員の資質を向上するために、研修の実施及び参加を推進しています。

区 分	研 修 内 容	実施回数	受講者数
センター研修	新入会員研修(接遇研修)	31回	205名
	就業会員研修(接遇・安全研修等)	10回	93名
	家事援助接遇研修	2回	19名
	生活援助員研修(新宿区主催)	3回	15名
	PCスキルチェック	2回	19名
第3ブロック合同 中野区・杉並区 板橋区・豊島区 練馬区	代表理事等会議 「派遣事業の現状と今後の展望」	1回	3名
	役員研修「シルバー人材センターのデジタル化について」	1回	13名
	会員研修「自転車交通安全研修」	1回	7名
	安全就業研修「シニア世代の健康管理と介護予防」	1回	7名

4. 就業機会の拡大

就業開拓専門員による地域事業所等への訪問営業や「お仕事募集」PRチラシのポスティング、新聞折込みなどにより受注拡大を図りました。年度後半は新たに作成した総合パンフレットも活用しました。

(1) 就業実績(請負)

前年度に比べて、就業実人員は11人の減となり、就業率は0.1%減となりました。シルバー派遣事業を合わせた就業率は71.6%です。

経営計画の5年度指標73%に対する達成率は98.1%です。

項 目	5年度	4.年度	差 引	増 減 率
年度末会員数(人)	1,703	1,717	△14	△0.82%
就業実人員(人)	1,164	1,175	△11	△0.94%
就業率(%)	68.3%	68.4%	△0.1%	

(2) 就業相談

センター事務所での個別就業相談会及び10地区の特別出張所で出張相談を実施しました。

相談会名	実施回数等	参加者数
対面入会説明会	31回(毎月開催)	172名

地域説明会	3回開催(11月)	15名
ネット入会説明会	常時	66名
個別就業相談会	16回(毎月開催)	183名
出張相談(10ヵ所)	40回(5~7.9.10.12.2.3月)	260名

(3) 事業実績

①受託事業

受託件数は10,851件で、生活援助サービス事業や植木の手入れ等の減により前年度比238件、2.1%の減でした。契約金額は約7億6,800万円で、前年度比約6,900万円、9.9%の増でした。

経営計画の5年度指標7億3千万円に対する達成率は105.2%です。

(家事援助・育児支援サービス事業を含む。)

事業別	受託件数(件)				契約金額(円)			
	5年度	4年度	差引	増減率	5年度	4年度	差引	増減率
公共事業	281	291	△10	△3.4%	352,889,752	306,701,761	46,187,991	15.1%
民間事業								
計	10,570	10,798	△228	△2.1%	415,071,992	392,220,211	22,851,781	5.8%
企業	5,420	5,292	128	2.4%	338,485,271	317,667,450	20,817,821	6.6%
家庭	5,078	5,436	△358	△6.6%	66,776,975	66,292,081	484,894	0.7%
自主	72	70	2	2.9%	9,809,746	8,260,680	1,549,066	18.8%
合計	10,851	11,089	△238	△2.1%	767,961,744	698,921,972	69,039,772	9.9%

②家事援助等サービス事業

家事援助・育児支援サービス事業はコロナ禍であった前年度比で、受託件数が6.6%減、契約金額が1.5%増でした。また、生活援助サービス事業は前年度比で受託件数が28.1%減、契約金額が29.4%減でした。

	家事援助・育児支援サービス				生活援助サービス			
	5年度	4年度	差引	増減率	5年度	4年度	差引	増減率
受託件数(件)	1,709	1,829	△120	△6.6%	452	629	△177	△28.1%
就業実人員(人)	92	99	△7	△7.1%	25	32	△7	△21.9%
就業延人員(人)	7,460	7,887	△427	△5.4%	1,838	2,602	△764	△29.4%
契約金額(千円)	25,559	25,169	390	1.5%	2,951	4,180	△1229	△29.4%

(4) 自主事業

実施規模や時間等はようやくコロナ禍前の水準に戻ってきており、実績額は全体として前年度に比べて増加しました。

パソコン教室の実績額の減少は、講座数の減少によるものです。

手編み教室の実績額の減少は、講師会員の減少によるものです。

(単位：円)

項目	5年度	4年度	差引	増減率
パソコン教室	941,500	1,014,000	△72,500	△7.1%
書道教室	1,336,000	1,136,000	200,000	17.6%
手編み教室	187,500	241,500	△54,000	△22.4%
ここ・から英会話	2,863,050	1,506,000	1,357,050	90.1%
らくらくリフォームウエア	3,275,256	3,213,560	61,696	1.9%
手づくりショップ・ふれあい	1,206,440	1,149,620	56,820	4.9%
合計	9,809,746	8,260,680	1,549,066	18.8%

(5) シルバー派遣事業

派遣チラシの送付や就業開拓専門員による訪問営業、「ネット受注」の活用など就業先拡大に取り組んだ結果、受託件数および契約金額とも前年度に比べて増加しました

項目	5年度	4年度	差引	増減率
受託件数(件)	134	118	16	13.6%
就業実人員(人)	56	55	1	1.8%
就業延人員(人)	5,922	5,194	728	14.0%
契約金額(円)	42,424,979	36,383,352	6,041,627	16.6%

(6) 適正就業の促進

・適正就業の徹底

就業開拓専門員及び職員による就業現場の巡回を行い、発注者及び会員に適正就業について周知・説明することで適正就業を徹底しました。

・公平な就業機会の提供

ローテーション就業やワークシェアリングを推進しました。

・適正就業ガイドラインの周知

センターホームページに「適正就業ガイドライン」を掲載しました。

5. 会員の安全確保と健康管理の推進

(1) 安全就業活動実施状況

機材の点検や安全就業関連冊子の会員への配付とともに、シルバー100トレの会の充実とウォーキング講座の開催など会員の健康増進に取り組みました。また、7月を「安全就業強化月間」と定めるとともに、安全就業標語の募集等を行うことで安全就業の啓発を行いました。

項目・テーマ	実施回数	講師等	実施場所等	参加者数
植木用機材の定期点検	13回	事務局	シルバー人材センター	15名
安全就業だより発行	12回	事務局	全会員に配付	—
転倒事故予防冊子の配付	41回	事務局	新入会員、研修受講会員に配付	—
安全大会	1回	新宿区健康づくり課	新宿文化センター	73名
普通救命講習会	3回	東京防災救急協会指導員	シルバー人材センター	34名
シルバー100トレの会	24回	新宿区健康づくり課	シルバー人材センター	255名
ウォーキング講座	3回	日本ウォーキング協会	シルバー人材センター	46名
令和6年度安全就業標語募集・選定	1回	安全委員会	「自己過信 慣れと重なり 事故のもと」 「ルール無視 無謀運転 事故のもと」	応募者 22名 作品 45点
自転車用ヘルメットの購入助成	8月まで	事務局	ヘルメット購入会員に助成	74名

(2) 安全就業パトロール

安全委員会委員による安全就業パトロールを、新規契約先現場、パトロール未実施現場を中心に実施し、事故防止に取り組みました。

パトロールした52件で安全意識、服装・保護具、作業環境、作業用具等、共同作業、緊急時対応、健康管理、コロナ対策の8項目の安全就業チェックを行いました。

(3) 熱中症予防対策

熱中症予防対策として、アイスネックリングを購入して、就業会員1,127名に郵送配付しました。

(4) シルバー保険

令和5年度の傷害事故は27件と前年度に比べ1.5倍以上となり、そのうち20件が転倒事故となっています。また就業途上事故の10件のうち自転車での事故が6件と、自転車走行時の事故が多くなっています。

損害賠償責任事故については4件と、前年度比で3件増加しました。

今後も慌てない安全第一の行動とともに、自転車事故が減少するよう、交通ルールや安全意識の普及啓発に取り組みます。

項目	5年度	4年度	差引
傷害事故 計 (件)	27	17	10
就業中	17	11	6
就業途上	10	6	4
損害賠償責任事故 (件)	4	1	3
合計 (件)	31	18	13

6. 会員活動の活発化

(1) 会員相互の交流状況

コロナ感染症の拡大後、毎月初に行っていた「交流のひろば」は中止しており、令和5年度においても中止しました。再開の方法・時期については、社会参画委員会で話し合い検討し、令和6年度から状況をみながら徐々に再開していくこととなりました。

(2) ボランティア等への参加状況

コロナ感染症の拡大後、令和4年度は新宿区等主催のボランティアを中心に再開しておりましたが、令和5年度からは防犯パトロール・道路清掃等のシルバー人材センターが独自で行っているボランティアも再開しました。

また、新たにボランティアポシエット、ボランティア手袋を作製し、ボランティア従事会員に配布しました。

年間ボランティア参加延人数は、コロナ感染症の影響を受けて、379人に止まりました。

経営計画の5年度指標885人に対する達成率は、42.8%です。

項目	実施回数	参加者	備考
防犯パトロール	6回	60名	
センター周辺の道路清掃	7回	31名	

戸塚地区地域班による道路清掃	7回	65名	
落合第二地区地域班による道路清掃	8回	117名	
使用済み切手収集	随時	7名	
ごみゼロ運動	7回	64名	春期：3地区37名、 秋期：4地区27名
新宿打ち水大作戦	1回	11名	
新宿年末クリーン大作戦	—	—	雨天により中止
新宿シティハーフマラソン	1回	11名	沿道の案内
東京マラソン祭り 2024	1回	5名	防衛省前沿道の観客誘導案内
ボランティア強化月間事業 ここ・からまつり防犯パトロール	1回	8名	

(3) 令和5年度ここ・からまつり実施状況

実施日時	11月12日(日) 午前10時～午後3時 晴れ
出展団体及び実施概要	4委員会・5自主事業・1職群班・1地域班による、 展示、相談、体験コーナー、輪投げ、茶席
参加者数	来場者約3,500名、会員・職員等143名

※お茶会体験から寄付金5,000円及び落合第二地区地域班から寄付金6,000円、併せて11,000円を新宿区社会福祉協議会に寄付しました。

7. 組織基盤の強化

(1) 自主自立の組織運営

● 定時総会 (議決権を有する会員の総数：1,682名)

定時総会は、4年振りに来賓の方をお招きし、新型コロナウイルス感染症に配慮して開催

新宿区立新宿文化センター	6月23日(金)	参加者1040名(委任状等を含む)
--------------	----------	-------------------

しました。

● 理事会等の開催状況

理事会	定例12回・臨時1回
事業委員会	12回

広報委員会	7回
社会参画委員会	7回
安全委員会	11回
家事援助・育児支援事業開拓分科会	5回
自主事業運営分科会	5回
世話役会議	1回
班長会議	11回

(2) 事務局機能の強化

職員 27 名 (常勤職員 10 名 嘱託職員 9 名 補助職員 8 名)

- ・インターネット等のデジタル技術の活用した事務所運営や情報の収集・発信に取組み、能率・効率化に努めました。
- ・インボイス制度に対応するため新宿区等との契約の事務費を上げました。
- ・フリーランス法施行を見据えて就業に係る契約方法の見直しに取組みました。
- ・警備会社のコールセンターを活用した緊急時連絡体制を整備しました。
- ・職員関係規程を整備しました。
- ・職員の出退勤システムを導入しました。

事業報告の附属明細書

令和 5 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則 第 34 条第 3 項」及び「定款第 40 条第 1 項第 2 号」に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

公益社団法人新宿区シルバー人材センター 会長 中 島 利 明